

令和5年度
いせんチャレンジ隊の旅 02

- 各種イベント・行事の様子…………… 04
- 今月の町長の動き…………… 07
- 各課よりお知らせ…………… 08
- わが町のアイドル・戸籍の窓……… 12



伊仙町HPにアクセス!

Facebook・YouTube(動画)でも、
町の情報をお伝えしています。



教育長辞令交付式

チャレンジ隊の旅



本事業では、未来の伊仙町を支える青少年に対し、体験活動を重視するとともに、さまざまな文化や人・自然と交流し、鍛錬と感動の場を提供し、青少年の健全育成とリーダー育成を目的に町内の小中学生を対象に実施しています。

今年度は、町内各小学校から15名の子どもたちが参加し、12月25日〜28日の3泊4日、大分・熊本・鹿児島を中心に共同生活を送り、交流を深めました。



スキー体験 (大分県くじゅうスキー場)

午前中にレッスンを受けました。最初はなかなかうまく滑れず、止まることができずに転んだりしていましたが、練習を重ねるうちに、みんな上手に滑ることができました。

初めて見る雪やスキー体験に、子どもたちはとても嬉しそうで、楽しそうに滑っていました。



子どもたちの感想

● 今回の旅で新しい知識を学んだり、たくさんの方に興味を持った。まだまだ知らないことだらけだとすごくワクワクした。

● できるようになったことが増えた。

● 最初はこわくて全然滑れなかったけど、練習しているとだんだんこわくなくなって、曲がったりできうまく滑れた。

● スキーの時間を増やしてほしい。

● 自分から時計を見て行動したり、みんなをひっぱってリーダーシップをとって行動するようになった。

● 初めての体験がたぐさまできた。

● 森林グループワークゲームで、班のみんなで協力してクイズや指示書の内容を探るのが楽しかった。まるで、探検家になったみたいだった。

● 自分の目標をやり終えた達成感を感じた。とてもいい経験になったし、一生の思い出になりました。

● 出発式で同じ班の子に「仲よくなるうせ」と言われすくうれしくて、心のきりが縮まった気がした。

● 「自分一人ではやり遂げることができないことも、グループ全員で協力し合えば必ず成し遂げられる」そう学びました。

● 最初はこわかったけど、スキーを教えてくれる先生がやさしく教えてくれて、わかりやすかったし、やってみれば自分でもできるようになって、「私は成長したんだなあ」と思いうれしかったです。

● 他の学校の人との交流が増えた。

● またいせんチャレンジ隊の旅に参加したいと思います。

伊仙町われんきや 未来教育会議

令和5年度 いせん



熊本地震で被災した時の状況や、石垣や瓦の崩壊などを詳細に再現した映像などで当時の被災状況について学び、被害の深刻さを体感しました。また、歴史について寸劇やクイズ、展示物など多くのことを学ぶことができました。

熊本城ミュージアム わくわく座



御船町で日本初の肉食恐竜の歯の化石を発見したことを学び、博物館にはたくさんさんの迫力ある恐竜の化石や脊椎動物の進化などたくさん展示されていました。

御船町恐竜博物館



12
13

乳幼児親子の舞台鑑賞会

●日時…令和5年12月13日(水)
10時30分
●場所…ほーらい館A会議室

子ども・子育て支援事業の一環で、乳幼児向けの舞台鑑賞会がほーらい館にて行われました。動物の革や木でできた自然素材の楽器が紡ぎだす心地よい音楽が、会場いっぱいに鳴り響き、初めて聴くアフリカ音楽に親子で楽しんでる姿が見られました。

参加者からは、「見たこともない楽器に触れたり、音を楽しんだりとても良かった」・「島では中々できない体験ができて楽しかった」等の声が聞かれました。今後も親子で楽しめるイベントを継続していきたいと思えます。



01
05

令和6年度伊仙町消防団出初式

今年も、伊仙町役場から伊仙中学校までパレードを行い、伊仙中学校グラウンドにて、式典を行いました。

1年の初めにあたり、防火・防災意識の啓発を行うだけでなく、危険の伴う災害現場で活動する消防団員にとっては、その安全祈願の意味でも、欠かすことのできない重要な行事です。

式典では、大久保町長から能登半島地震への追悼の意が述べられた後、本町においても、いつ起こるか分からない災害への対応として防災力の向上の決意が述べられました。

また、消防団員による小型ポンプ操法も行いました。今年の消防操法大会は24年ぶりとなる伊仙町開催です。優勝を目指して日々の訓練に励みます。



01
27

令和5年度 伊仙町公民館講座閉講式が 開催されました

令和5年度に開講された9講座に77名の申し込みがあり、1年間学習してきた成果を披露しました。約60名の参加者の前で、5講座の舞台発表や受講生代表の挨拶がありました。

はじめの島唄・三味線教室を受講した小学1年生の栢山慎吾さん(6歳)は「先生やおじちゃんおばちゃんたちが優しく教えてくれて、楽しかったです。一生三味線を続けたい。」と堂々と発表しました。

また、いっちゃんのお裁縫教室を受講した中村洋子さんは、「この講座を通して、縫物だけでなく、顔見知りが増えてとても楽しい講座でした。次も参加してできることや楽しい時間を増やしていきたい。」と発表されました。

1階にはお裁縫教室やソフト粘土のお花などの作品や郷土料理教室の写真等が並び、会場に来た人の目を楽しませていました。



■いっちゃんのお裁縫教室



■島唄・三味線教室

02
04

防災訓練

令和6年2月4日(日)に町内全域を対象とし、大地震発生後、大津波が襲来するといった想定での防災訓練を行い、町内全域で500人の方が参加しました。

今回の訓練にあたって、町民の方は各集落公民館への避難訓練・情報伝達訓練、役場は避難所開設訓練を行いました。

「天災は忘れた頃にやってくる」という有名な言葉がありますが、近年は、天災

を忘れる前に起きてしまうほどの異常現象が続いています。

いつ起こるか分からない災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。

その中でも基本となるのは「自助」、自

らの身は自分で守る、との考えのもと日常的な災害に対する備えや、災害時の対応を行うと、同時に、「災害の「備え」を参考に日頃から防災について考え、備えておきましょう。

災害が起きてしまった際に、非常用として備えておくもの

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの!

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 食品
<small>(にんじん(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど:最低3日分の用意!)</small> <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> レインウェア <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 (※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 救急用品
<small>(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)</small> <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ブランケット | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート <p style="text-align: center;">— 感染症対策にも有効です!! —</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 <p style="text-align: center;">— 一緒に持ち出そう!! —</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 貴重品
<small>(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)</small> |
|--|--|

備蓄品

お家に備えておくもの!

- 食料や水 (最低3日分!できれば1週間分) × 家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど

ほかにも、家庭に必要なものは日ごろから備えておきましょう





伊仙町の魅力を発信

伊仙町高等教育フィードバック推進事業（企業版ふるさと納税活用事業）



■追手門学院大学生らと「放課後わくわくクラブ」の子どもたち



1月21日（日）徳之島・伊仙町への若者世代の関係人口の創出と交流人口の増加を目的として、追手門学院大学地域創造学部（大阪府茨木市）の学生たちが伊仙町でフィードバックを実施し、学生からみた伊仙町の魅力を発信するPR動画を制作したことから、ほーらい館においてオンライン動画成果報告会「徳之島 OIDAImeat s ISEN」を開催しました。追手門学院大学地域創造学部は2022年に「徳之島プロジェクト」と題し、若者世代の交流人口

増加の方策と検討をテーマに本町でフィードバックを実施しています。今回3回目となる

フィードバックでは、町の助成事業をうけ、一般社団法人長寿子宝社やとくのしま伊仙まちづくり協同組合が協力し、本町の「産業・食・自然・伝統行事」といった生活文化をより深く理解するとともに、島外の大学生並びに、地域住民から見た伊仙町の魅力など双方の視点の違いを交差することを目的とした動画を作成しました。

今回の報告会では、島内に住む若い世代にも伊仙町の魅力に気づいてもらいたいという思いと、若い世代から見た伊仙町の魅力をアピールしてもらうため、長寿子宝社が運営している学童保育「放課後わくわくクラブ」の小学生と共同で動画報告会を進行しました。

小学生たちは世界自然遺産のすこさや夕日の美

しさ等、伊仙町の魅力を学生たちに伝えました。

追手門学院大学地域創造学部は今後もフィードバックを継続して実施し若い世代の関係人口の創出、そして島外の学生や徳之島・伊仙町の地域住民の方々の視点を交差させながら徳之島の魅力の再発見していきたいと話していました。



町長の動き



伊仙町長の1カ月の主な動静を紹介いたします。

月日	行事	場所
1/17(水)	第2回世界自然遺産5地域会議	京都
18(木)	離島緊急医療現況報告会及び意見交換会並びに謝恩会	鹿児島
19(金)	徳之島建設業協会安全祈願祭	徳之島町
21(日)	伊仙町高等教育フィールドワーク支援事業「追手門学院大学『豊かな生き方』に関する調査と発信フィールドワーク	
	喜念小学校地鎮祭	
	南西糖業(株) 来庁 徳和瀬工場経過報告	伊仙町
22(月)	アビスパ福岡 宮 大樹選手 来庁	
	関西徳洲会 中野氏 来庁	
	東・西目手久集落座談会	
24(水)	令和5年度鹿児島県難病対策推進協議会	鹿児島
25(木)	奄美NN推進事前協議	
	御前堂・東伊仙東集落座談会	
26(金)	鹿児島銀行徳之島経済同協会新年会	徳之島町
27(土)	春一番出発式	
	日本マルコ社長夫妻 来庁	
29(月)	第3回介護保険事業計画 策定委員会	
	木之香集落座談会	
	畑かん状況説明	伊仙町
30(火)	中伊仙東西集落座談会	
	(株)九電工 徳之島営業所所長 新年挨拶	
31(水)	令和5年度第2回徳之島愛ランド広域連合管理者会議	
	徳之島用水 武弁護士Web会議	天城町
	国際ユースキャンプ懇親会	伊仙町
2/1(木)	農林水産省との意見交換会	鹿児島
2(金)	鹿児島県民総合保健センター 定例理事会、臨時評議会(オンライン)	
	喜念・佐弁集落座談会	
3(土)	西犬田布集落座談会	
5(月)	第1回臨時議会	伊仙町
	東西阿権集落座談会	
6(火)	奄美自動車協会 来庁	
	徳之島消防組合 来庁	
7(水)	NTT e-cityLAB 訪問	東京
	パブリックヘルスリサーチセンター 訪問	
	農福連携意見交換会	
9(金)	令和5年度市町村長研修会、等(同会場で各種会議)	鹿児島
11(日)	商工スタンプ会「創立40周年記念お楽しみ抽選会」	伊仙町
13(火)	徳之島事務所建設課 要望活動	
	令和5年度徳之島三カ町議会議員大会	徳之島町
14(水)	第7回奄美群島新ビジョン懇話会(オンライン)	
	東犬田布集落座談会	
	定例区長会	伊仙町
15(木)	東伊仙西集落座談会	
	徳島県阿南市議会行政視察	

母子保健推進員を募集しています♪

地域での子育てを支援していただく「母子保健推進員」を募集しています。地域の子育て応援団と一緒に活動してみませんか。

【主な活動内容】

- ・乳幼児健診や各種教室の補助
- ・定例会等への参加など

【任期】

- ・令和6年4月～令和8年3月

【応募資格】

子育てに関わった経験があり、母子保健活動に興味がある方、実際に活動できる方。専門的な資格は必要ありません。



お問い合わせ

伊仙町役場 子育て支援課
母子保健担当

TEL:0997-86-3114 (直通)

伊仙町地域女性連の活動紹介 ～交通安全母の会～



1月10日に町内の県道に於いて、行政・徳之島警察署と合同で「飲酒運転撲滅運動」を実施しました。平日にもかかわらず7名の運営委員の参加があり、とても心強く感じました。

また、寒風の中ではありますが、約1時間の間、運転手に『飲酒運転をしないでくださいね』と啓発することができました。





〇くらし支援課

●軽自動車税について

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に税金が課されます。
4月2日以降に廃車した場合でも令和6年度の税金はかかりません。
また、4月2日以降に名義変更を行った場合、4月1日現在の所有者が納税義務者となりますので、譲渡をされた方や廃車をする予定のある方は、3月31日までに手続きをお済ませください。

■お問い合わせ

伊仙町役場くらし支援課
軽自動車税担当

TEL..86-3113(直通)



〇くらし支援課

●戸籍法が改正されてできるよくなること

※戸籍法の一部を改正する法律(令和元年法律第17号)は、令和元年5月24日に成立しました。

第1

各種の社会保障手続で、マイナンバー制度を利用して戸籍謄抄本の提出を省略することができます。

各種の社会保障手続の際に記載していただいているマイナンバーを利用して、窓口機能において、親子関係や婚姻関係等を確認することが可能となるため、従来これらの手続で提出が必要だった**戸籍謄抄本の添付が省略**できます(※1)。

【具体的な手続の例】

- ・児童扶養手当の支給手続における続柄・死亡の事実・婚姻歴の確認
 - ・国民年金の第3号被保険者(被保険者に扶養されている主婦など)の資格取得手続における婚姻歴の確認
 - ・奨学金の返還免除手続における死亡の事実の確認
 - ・健康保険の被扶養者の認定手続における続柄の確認 など
- (※1) ケースによっては、引き続き戸籍謄抄本の添付が必要な場合があります。

第2

戸籍の届出や戸籍謄抄本の取得も便利になります。

① 戸籍の届出における戸籍謄抄本の提出不要化

婚姻届や養子縁組届など様々な**戸籍の届出の際に、戸籍謄抄本の提出が不要**となります。

さらに

提出していただいた戸籍の届書(婚姻届など)を電子化し、戸籍事務が効率化されることにより、**速やかに新しい戸籍謄抄本が発行**できるようになります。

② 本籍地以外の市区町村での戸籍謄本の発行

本籍地が遠隔にある方でも、お住まいの市区町村や勤務先の**最寄りの市区町村の役場の窓口**において、戸籍謄本を取得(※2)することができるようになります(新戸籍法第120条の2)。

(※2) ご自分の戸籍のほか、配偶者、父母、祖父母、子の戸籍の謄本も取得が可能です。

さらに

オンライン上で行政手続をする際に利用可能な戸籍の証明書として、新たに、「**戸籍電子証明書**」(※3)を発行可能とします(新戸籍法第120条の3)。

令和6年3月1日から戸籍制度が利用しやすくなります。



(※3) 今後、どのような手続において活用するかは関係府省において検討中です。

■お問い合わせ

伊仙町役場くらし支援課
戸籍事務担当
TEL..86-3113(直通)



伊仙町養護教諭部会

ロコモ予防体操の取組を振り返って

伊仙町内の各小・中学校では歩健学研究室の西村千尋先生に年間を通して御指導をいただきロコモ予防体操に取り組んできました。子どもたちから寄せられた取組の感想をいくつか紹介します。

- 片足立ちがグラグラしないで立てるようになった。
- 最初は指が床に着かなかったけど、だんだん着くようになってきた。うれしかった。これからも継続していきたい。
- 以前より体が柔らかくなった。
- 体を動かすことを意識するようになった。難しいものもあったが、毎日楽しく体操ができた。

子どもたちが喜びと達成感を感じたロコモ予防体操、ロコモ予防に是非みなさんも取り組んでみませんか？



ロコモ予防は家族で一緒に！

「成人病」が「生活習慣病」と呼び名が変わった理由のひとつに、子どもの頃の生活習慣は大人になっても残存しやすいことがあげられています。その意味でも、高齢期の健康課題と思われていたロコモティブシンドロームの予防を、若い世代から講じていく必要があります。

各小・中学校での取り組みにおける最大の特徴は、ロコモチェックを児童・生徒自身が行っていること。

生涯にわたって自分の健康状態を自分自身で判断できることを期待してのものです。児童・生徒の中にはその効果が見て取れる感想も見受けられます。

大切なのは楽しく続けること。成果を出すためには、やはり「継続は力なり」です。

家族で一緒にロコモ予防に取り組んでみましょう。

歩健学研究室 西村千尋 (元長崎県立大学 教授)

徳之島町・林道山クビリ線における通行規制にご協力をお願いします

世界自然遺産に登録された貴重な自然環境を保全するため、2019年7月から徳之島町にある林道山クビリ線は徳之島町条例により、通行規制を行っています。

許可者以外は通行できませんので、ご協力をお願いします。

林道 山クビリ線 地図

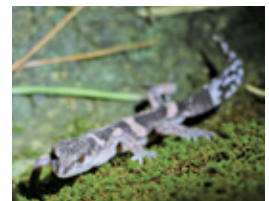


★林道山クビリ線で自然観察を行いたい場合は、奄美群島認定エコツアーガイドの同行が必要です！

※林道山クビリ線を利用して天城岳に登山される場合も同様です。



■アマミノクロウサギ



■オビトカゲモドキ

徳之島利用適正化連絡会議事務局

■徳之島町おもてなし観光課

TEL:0997-83-0731

■徳之島町農林水産課

TEL:0997-82-1150

お問い合わせ先

国民年金第1号被保険者で平成31年2月1日以降に出産された方へ

現在、保険料免除制度を利用して
いる方も手続きしてください！

産前産後期間の国民年金 保険料が免除されます！

産前産後期間の国民年金保険料免除制度は、次世代育成支援の観点から国民年金第1号被保険者[※]が出産をされた際、産前産後の国民年金保険料が一定期間免除される制度です。早めの届出をお勧めします。

※ 20歳以上60歳未満の自営業者・農林漁業者とその家族、学生、無職の人



免除制度の内容

国民年金の保険料免除の仕組み

	保険料負担	年金受給額	
国民年金納付者 [※] <small>※ 現在まで全額納付の方</small>	納付	国庫負担分	保険料分
現在の免除制度 (全額免除の場合)	免除	国庫負担分	なし
産前産後期間の 免除制度	免除	国庫負担分	保険料分

■ 産前産後期間の免除制度は、「保険料免除された期間」も保険料を納付したもものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

国民年金の保険料免除は全額免除の場合、将来の給付額は全額納付時と比べ2分の1となります。

この制度は、国民年金保険料を月額100円程度引き上げるにより、国民年金の被保険者全体によって支えられています。

■ 産前産後期間は付加保険料が納付できます。

■ 産前産後期間の保険料を前納している場合、全額還付(返金)されます。

届出しないと免除になりません

- 出産予定日の6か月前から届出ができ、手続きには書類が必要です。(裏面参照)
- 平成31年2月1日以降の出産であれば、出産後の届出はいつでも可能です。
- 届出先は、お住いの市(区)役所または町村役場の国民年金担当窓口となります。郵送でも手続きできます。

保険料納付が免除される期間

- 出産予定日または、出産日が属する月の前月から4か月間の国民年金保険料が免除されます。
- 多胎妊娠(2人以上の赤ちゃんを同時に妊娠)の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3か月前から最大6か月間の国民年金保険料が免除されます。
* 出産とは、妊娠85日(4か月)以上の出産をいいます。(死産、流産、早産された方を含みます)

■ 免除対象期間 [色の付いた部分が免除期間]

	3か月前	2か月前	1か月前	1か月後	2か月後	3か月後
単胎の方			■ 出産予定日 [※]	■	■	
多胎の方	■	■	■ 出産予定日 [※]	■	■	

※届出が出産後の場合「出産日」

家族をつなぐ物語



ナレーション：榎木孝明

■上映会開催

3/23
土

徳之島交流ひろば
ほーらい館「癒ていなホール」
18:30 開場 / 19:00 開始

入場無料 (250 席限定)

闘牛の島 とくめしま



中島英人、前田明誠、保岡洋斗、小林普麻、藤園潤、内間政成 (スリムクラブ)、重田光康 ナレーション：榎木孝明

大城美奈、伊藤武輝、鈴木理潤、安富優美、石黒海士、松本真良、西野夫、西野美、別島弘研、亀山茂章、若田百英、松山真慈、芳村しずく、短内梨紗子、井上恭仁、山本秀俊、稲股太、富山海音、里悠空、渡津心、木原悠花梨、湯浅子

主題歌：「ワイドワイドワイド」／榎一馬 作詞・作曲：榎一馬

企画・プロデュース：大橋孝史 撮影：斎中博幸 ヘアメイク：南部和美 編集：寺島明智 制作：近藤健輝 宣伝：白石唯久美 制作デスク：濱田浩一 協力：重田光康、村藤二、藤岡正仁、徳之島闘牛連合会 制作協力：ロサンゼルス新顔組レストラングループ、重田建設株式会社 (宮上佳久、宮上節子、安田時枝)、ショップかんだ、恵比寿しほ田、株式会社フードパーク shige na 株式会社エコシステムズ・ジャパン (重田光康)、徳元与八郎、中野千代子 撮影場所：花津闘牛場、重田建設株式会社、徳之島子実交流館、徳之島闘牛会会館、天城町立天城小学校、天城町立北中学校、学校法人 時任学園 徳南第二高等学校、徳之島なくさみ館、松原漁港 (矢沢聖金碑) ムシロ瀬、平上野斎宮跡、天の川、別荘の森、倉見野ソフトボール、境アリスビーチ、花津浜 音楽：Singer Song farmer 榎一馬 録音提供：ハッピー企画、マリンサービス海伊屋、天城町エコーの里テレビ、歴史文化遺産担当資料センター ユイの館 宣伝協力：一般社団法人 徳之島観光連盟、NPO 法人 全世界空手道連盟新顔真会、ふるさと映画祭、AkibaTV、オーブレーションTV 制作プロダクション：モバコン株式会社 製作：徳之島町、天城町、伊佐町 監督/脚本：大橋孝史

©映画映画「闘牛の島とくめしま」徳之島町・天城町・伊佐町



伊仙町商工会の窓



一人ひとりの生きがいがいつくりと喜びで溢れる
毎日を過ごせる様に支援・援助いたします。



一般社団法人 夢みらい

住所 伊仙町伊仙 3331 番地 3 TEL 0997-86-2333

お買い物は、ぜひ町内でお願いします。



わが町の アイドル!

長寿・子宝
日本一の
町!

とあ るあ
立山 翔愛くん・ 瑠愛ちゃん
(3歳5カ月) (10カ月)



仲よし兄妹♡
すくすく大きく
なあれ♡

わが町のアイドル募集!

町のみなさんに素敵な笑顔を届けてみませんか?
毎月10日までに、右記二次元コードを読み取り、必要事項
を入力し、掲載希望写真を添付いただきご送付ください。



お問い合わせ 伊仙町役場 未来創生課
TEL 86-3112

戸籍の窓

お誕生おめでとう (敬称略)

- | | | |
|----------------------------|-------|-------|
| ● 出生児 | ● 保護者 | ● 集落名 |
| ● 義岡 勝冬 <small>かつと</small> | 義岡 友和 | 検福 |
| ● 元田 灯 <small>ともり</small> | 元田 裕人 | 喜念 |

ご結婚おめでとう (敬称略)

- | | |
|---------|-------|
| ● 氏名 | ● 集落名 |
| ● 基山大貴 | 崎原 |
| ● 中山千代 | 天城町 |
| ● 榎田隆志 | 兵庫県 |
| ● 植田 想 | 西伊仙 |
| ● 長尾 辰徳 | 中伊仙 |
| ● 東田 美歌 | 亀津 |
| ● 西 涼介 | 阿三 |
| ● 平岡 榛奈 | 天城町 |
| ● 永治 龍樹 | 阿三 |
| ● 徳元 美羽 | 鹿児島市 |

香典返し

○ 佐弁 集落名 寄附者名 (故人名) 年齢
石原 はるみさん (亡 得みね子さん) 100 歳

金一封いただきました。 ※社会福祉協議会受付



人口の動き

(2024年1月末日現在)
※総人口は、外国人含む。

総人口	6,216 人
男	3,141 人
女	3,075 人
世帯数	3,454 世帯
出生	2 人
死亡	11 人
転入	30 人
転出	7 人